



令和7年度 あすなろ学級 学年経営方針



1 担任・教科担当紹介

あすなろ1組担任
あすなろ2組担任
教科担当

Tetoruにてご確認ください。



2 学級経営方針

学級目標 「**えがお**」

- ・ねばり強くたくましい子（体・基本的な生活習慣・心身の健康）
- ・自分から考え、行動できる子（知・基礎的な学力）
- ・友達と仲良くできる子（徳・社会性）

(1) 学 習

- ア 国語と算数は、原則それぞれの学級で授業を行う。
- イ 個々の力に合わせて個別指導・支援を行い、できた喜びと自信をもたせる。
- ウ 家庭学習の定着を図る。（宿題・学校の準備が自分でできるように）

(2) 生 活

- ア 集団生活におけるモラル・マナーを身に付けさせる。
- イ いろいろな場を通して、あいさつ・お礼等が言えるようにする。
- ウ 当番活動で、自分の役割を果たせるようにする。
- エ 学級で取り組む時間をもたせることにより、協力する活動する経験をさせ、お互いを理解し合い、認め合うことができるようにする。



3 各教科の指導

あすなろ学級では、異学年集団で学習や生活をしますが、該当学年で学習する内容を基本としています。3年生では社会、理科、総合、音楽のリコーダー、書写では毛筆が始まり、個々の力に合わせて学習を進めています。また、5年生からは家庭科の学習が始まります。

あすなろ学級では、5名の担任が18人の子供たちを学級や学年を越えて指導します。授業では担任以外が指導に当たることがあります。

交流学級での授業は、一斉授業や集団活動、同学年児童との関りや学びあいの経験をします。

(1) 国語・算数

- ・各学級、個別に分かれて指導します。

(2) 書写・社会・理科・生活・音楽・図工・家庭科・体育・英語

- ・個別のニーズに応じて、交流学級かあすなろ学級のどちらかで学習します。

(3) 総合的な学習

- ・基本的なパソコンの操作 ・プログラミング学習 ・健康学習 ・学校行事 ・学年行事等

(4) 道徳・学活

- ・道徳は、個別のニーズに応じて、交流学級かあすなろ学級のどちらかで学習します。
- ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）の教材を用いて指導することもあります。



(5) 自立活動

「児童生徒の障害に由来する種々の困難を改善・克服すること、すなわち社会によりよく適応していくための資質を伸ばす指導の必要性を重視して、特別の指導領域として設けられたもの」と言われるものです。長期的、短期的な視点から目標を決め、個の実態に応じた具体的な指導を行います。

(6) 日常生活の指導

必要に応じて指導の時間を設ける場合があります。また、1時間単位で指導をする内容と、1時間より短い時間で行う内容があり、必要に応じて計画し、指導をしています。

「児童生徒の日常生活が充実し、高まるように、日常生活の諸活動を適切に指導するもの」と言われています。生活の流れに沿って、現実的な状況下で毎日反復して行い、望ましい生活習慣の形成を図るものです。

(例) 身の回りの片付け、カレンダー、朝の会、給食、清掃など

4 交流授業

- 子どもと保護者の願い、個々のニーズや実態に合わせて計画をします。
- 各教科の交流授業は、基本的には子ども一人で、担任が付き添わなくても行けることを基本とし、学期ごとに計画の振り返りと見直しを行います。
- 学校・学年の各行事には基本的に交流学級で参加します。

5 その他

(1) 持ち物について

- フルネームで分かりやすく記名をお願いします。
- 華美なものを避け、機能面を重視してください。
- 図書貸し出し用の手提げ袋（図書袋）の準備をお願いします。



(2) 家庭での過ごし方

- 基本的に毎日宿題を出しています。学校で学習していることをご家庭に知っていただき、子どもたちがほめてもらえる機会になるように量と範囲を設定しています。
- 翌日の学校の準備（持ち物を揃え、鉛筆を削る等）をする習慣をつけるようお願いしています。ご家庭でも時々学用品の点検をしていただくようお願いしています。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。